

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	2	
事業名	地域振興事業費		会計	款	項	目
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために		一般	2	1	7
施策	3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進		課名	町民課		
			係名	町民活動係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自治会組織	目的 (対象がどのような状態になっているか)	自治会が自立的・主体的な活動を行うことができるよう支援を行い、地域住民が自分たちの町は自分たちでつくることを自然なことと思いい、まちづくりの主役となるようにする。
事業内容	コミュニティ交付金事務…自治会の各種事業（コミュニティ・施設整備関係事業等）に対して交付金を交付し、地域住民の自立的・主体的な活動を支援する。 自治会集会所整備事業補助…自治会が集会所を建設もしくは修繕を行う場合にその一部について補助を行う。 自治会集会所建設資金利子補給…自治会が集会所を建設する際、金融機関から借りた資金についての利子を補給する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	自治会加入率	78.2			%	↑	78.5
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			17,104		27,058		17,929	
財源内訳	直接事業費A		15,520		25,474		16,345	
	うち一般財源		15,520		25,474		16,345	
人件費（千円）B			1,584		1,584		1,584	
内訳	一般職員（人・千円）		0.24	1584	0.24	1584	0.24	1584
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	行政協力員等の報酬やコミュニティ交付金の見直しの方針に従い事業を進める。来年度からの見直し後の方向性の決定とそれに伴う準備を進める。	③取組の課題	集合住宅など単身世帯の増加により自治会加入率は減少し続けている。自治会や地域とのつながりのあり方、つながるメリットを改めて問い直していく必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	コミュニティ交付金の適正な執行 コミュニティ交付金の支給対象にかかる精査 自治会長への会議等の出席にかかる報償金の支出に対する要綱の制定と予算化	④今後の改善計画	コミュニティ交付金は維持しつつ、希薄になりつつある自治会や地域のつながりや信頼関係を再構築していく。